

赤祖父の石灰華生成地

南砺市城端地域と井口地域の境界には、赤祖父池というため池があり、下流域の農業用水の水源になっています。この赤祖父ため池から1 kmほど上流に富山県指定天然記念物の「赤祖父石灰華成生地」があります。ここは、炭酸カルシウムを多量に含んだ炭酸泉の噴出に伴い、飽和した炭酸カルシウムが析出し、小規模な鍾乳石を作ったり、落ち葉の上に結晶化して沈殿したりするものです。天然記念物を紹介する看板は、東西原集落のはずれにあり、そこまでは自家用車を乗り入れることができますが、そこに車を止め、川沿いに約10分歩くと指定地にたどりつきます。なお、天然記念物ですから、石灰華を採取することは禁じられています。見るだけにしましょう。



天然記念物であることを紹介する看板



炭酸泉の噴き出し



小さな鍾乳石



石灰分が落ち葉の上に沈殿してできた
いわゆる「木の葉石」